

昨日、小学5年生の授業参観に招かれ、行ってきました。というのも、環境問題に取りくむ私たち市民の会が、1月25日にこの児童たちの環境学習を支援したからです。4～5人のグループごとに、取りくんだ地球環境問題を父兄たちの前で発表しました。あるグループは、地球温暖化の問題を三択のクイズにしました。もう一つのグループはプラスチックの金魚鉢に、ビニール袋から砂を入れ、このように砂漠化した土地には木は育たないのだと説明してくれました。そのほかにも聞く人にわかるように工夫を凝らした発表ばかりでした。

ところで、温暖化などの環境問題が厳しく降りかかってくると思われるのはこの児童たちの世代なのです。そしてかれらの子どもたち、さらにその子どもたち……、と考えると。エネルギーや食物、たくさんのもなどがある今の物質文明の上にあぐらをかいている私たちは、早く環境にやさしいライフスタイルに変えなければなりません。実行している人は続けること、他の人にも話したりすることが必要です。